

# 東予高校PTAだより

## 「東予高校で学んだこと」

教頭 井原 進一

今年度も本校生徒の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も残すところ二か月足らずとなりました。私の東予高校での勤務もあつという間に二年が過ぎ去ろうとしています。思い起こせば二年前の四月に赴任した際、受け持つ授業の科目名を聞いて困惑したことを今でも鮮明に思い起こすことができます。

「電子計測制御」という科目名でした。私は、二十年以上「環境化学」や「生化学」といったいわゆる「化学」に関する科目を担当していました、学生時代にもそちらを専攻していましたので、「電子」も「計測」も「制御」のどれも、何のことなのかすらわからない状況でした。しかし担当する以上は授業を成立させることを目標にし、猛勉強しました。周りの先生方と生徒たちのおかげで一年目の授業はなんとか終えることができました。

そして二年目の今年も「電子計測制御」を担当することになりました。今年度は、「電子計測制御」を好きになることを目標にしました。なぜなら、教え

る私が好きでなければ、学ぶ生徒は「電子計測制御」を好きになれないだろうし、なにより「電子計測制御」に申し訳ないという気持ちになったからです。

「電子計測制御」とは、自然界の光や温度などの明るさや温かさなどの情報をセンサーで受けて電子の量に変換し、その量をデジタル信号に変換することで、モニターなどに数値を示すことができる技術のことです。今日は体温が高いとか、紫外線が強いという情報を知ることができるのも、ホットカーペットが温度の高まりを感じて低温設定に切り替わってくれるのも、この「電子計測制御」のおかげなのです。この技術を用いて、今年度は、私の興味のある「生化学」に近づけてみればおもしろいのではないかと考えました。また、新校開設に向けて、小松高校と丹原高校の皆さんと共に、「桑」と「蚕」を題材にした研究を進めることにもなっていましたので、これにも接触させると、さらに楽しくなる予感がしていました。予感的中しました。



蚕はサナギの時期をマユの中で過ごします。手も足も出ないこの期間に紫外線や湿気等の外的

環境や細菌等の外敵から身を守るためです。シェルターのようなマユには紫外線を吸収する機能が備わっているそうです。という話を一学期終盤の授業でしました。すると、どのくらいの効果があるのかを検証するために、紫外線測定器を製作して確かめてみようということになりました。そこで、夏休みに専門の先生から御指導を受けて準備しました。そのおかげで二学期には、授業で紫外線測定器を生徒たちと製作することができました。そして、その測定器を使ってマユの紫外線吸収効果測定の実験を行っています。生徒たちも楽しんでくれているのでうれしい限りです。

孔子曰く「知る者は好む者に如かず、好む者は楽しむ者に如かず」

知識を持つことは大切ですが、それを好むだけでは不十分であり、最終的にはその知識を楽しむことが最も価値があるということです。東予高校で、私はそのことを再認識する経験ができています。



## 令和7年度全日本ロボット相撲大会 出場者インタビュー

十二月に東京の両国国技館で行われた全日本ロボット相撲大会に本校ロボット部が出場し、500g自立型部門で2回戦進出を果たしました。今回はその時の感想や裏話について、ロボット部員のR3藤井君、M2正岡君、R2日野蒼真君にインタビューを行いました。

インタビュアー…(以下イ)

全国大会出場、おめでとうございます！両国国技館で試合とは、なかなか経験できないですね。どんな大会でしたか？

藤井君…(以下藤)

ありがとうございます。出場できたこと自体が、本当に運が良かったです。間違いなくミラクルです。

イ…そうなんですか？

藤…東予高校は少し前は無敵だったらしいですから。しかも去年は、現部長のM2福田君がラジコン型部門で全国ベスト8に入ってますから、僕の2回戦進出はあまり…(笑)。実質的に、エースは福田君です。

イ…なるほど。福田君、来年は期待ですね！顧問の木村先生は全国出場

を決めた時、どんな感じでしたか？

藤…僕たちは山口県の宇部であった中  
四国大会予選で、準優勝だったんです。  
もちろん嬉しかったんですけど、  
木村先生は常に高みを目指している  
ので、逆に「なぜ一位を取れない  
のだ」と仰っていました。しかも僕  
が東京に行ってから高熱を出して  
倒れてしまつて。インフルエンザだ  
つたんですけど。東京まで行つたの  
に、ホテルの部屋から一步も出られ  
ませんでした。一回戦はブラジルの  
選手と戦つたんですが、そこで勝て  
たこと以外、東京の思い出はほとん  
どないんです。

正岡君（以下正）…僕らは仮面ライダー  
のベルトを買ってきました（笑）。も  
んじや焼きも食べてきました！  
イ…なるほど！話は変わりますが、皆  
さんの入部動機はどのようなもの  
だったのですか？

正…僕は去年卒業された工藤先輩の部  
活動紹介を見て、入部を決めました。  
あと、R2の平井君と木村先生に熱  
心に勧誘されました。

日野君（以下日）…僕も同じような感じ  
です。

藤…僕も木村先生に入らんか？と言っ  
ていただいて、入部しました。  
イ…なるほど。木村先生の影響力は大

きいですねえ。実際に入ってみてい  
かがでしたか？

藤…やっぱり楽しかったです。ロボッ  
トを作ったり動かしったり、プログラ  
ミングをしたり…。部員同士も仲  
がいいので。

イ…熱心に活動してましたもんね。ロ  
ボット相撲の魅力はどういうところ  
にありますか？

正…実際には難しいことやうまくいか  
ないことの方が多くんですけど、そ  
の中で機体をどう改善していくか、  
というところに面白さがあります。

日…今回出場した自立型ロボットタイ  
プは、プログラムした動きをそのま  
ま行うので、うまく組み立てられた  
りプログラムできたりすると感動  
します。逆にこれが駄目だと全然動  
きません。そこが面白いです。

藤…場外に落とせば勝ちなので、機体  
が大切です。ラジコン型タイプだと、  
さらにパイロットも大切です。

イ…おお！ガンダムみたいですね！  
藤…いや、それは全然違うと思いま  
す。

イ……そうですか。失礼しました。で  
は最後に、来年度への抱負、あるい  
は今後頑張っていきたいことなど  
あれば教えてください。

正…僕は戦績を残して、できれば来年  
以降さらに部員を増やしていきたい  
です。

日…来年も、全国で一回戦突破して  
たいです。

藤…僕は3月で卒業するんですが、後  
輩たちには頑張ってもらいたいで  
す。僕も社会に出たら、何事もコッ  
コツとやっていきたいです！

イ…なるほど！ありがとうございます！  
た、新チームの戦いにも期待してい  
ます！

藤・正・日…ありがとうございました！



～東高祭を振り返って～